

# 北海道浮魚ニュース

平成10(1998)年度1号 (通巻 No.22)

1998年4月21日

北海道立中央水産試験場	Tel: 0135-23-8707	Fax: 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel: 0154-23-6221	Fax: 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel: 0138-57-5998	Fax: 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel: 0162-23-2126	Fax: 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel: 0152-43-4591	Fax: 0152-43-4593

## ◎道西日本海スルメイカ夏漁予報

「1998年6～8月の道西日本海へのスルメイカ来遊量は近年(1989～97)並みでしょう。」

(スルメイカ稚仔分布調査結果と近年の資源動向から判断)

## ◎資源動向

### ①漁獲量と稚仔分布量

1997年(昨年)の道西日本海のスルメイカ漁獲量(図1)は30,165t(概数値)で1996年の36,444tをやや下回った。海域別では道南・道北が減少した。しかし、資源水準としては近年の高水準を維持している。

### ②漁船の隻数とCPUE

松前・余市・稚内港の小型いか釣船の隻数は近年と同程度で、CPUE(1隻1日当たりの水揚げ数量)は道南・道北で前年をやや下回ったが、近年の高水準を維持している(図2)。

## ◎稚仔分布量

前年秋季に日本海南西部で行われたスルメイカ稚仔調査の結果、1998年(今年)漁獲対象となる1997年秋季の稚仔分布量は近年の高水準を維持している(図3)。

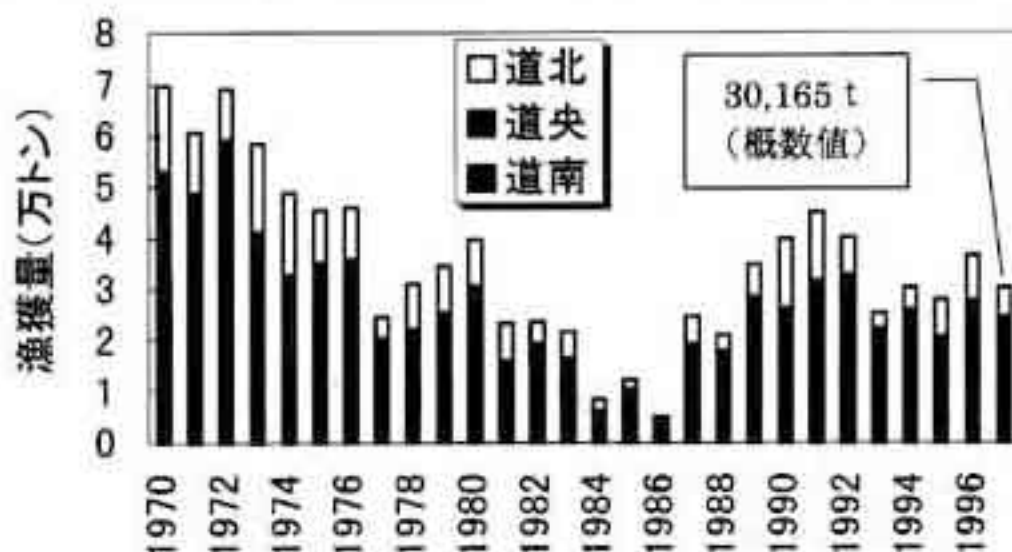


図1 北海道日本海側におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

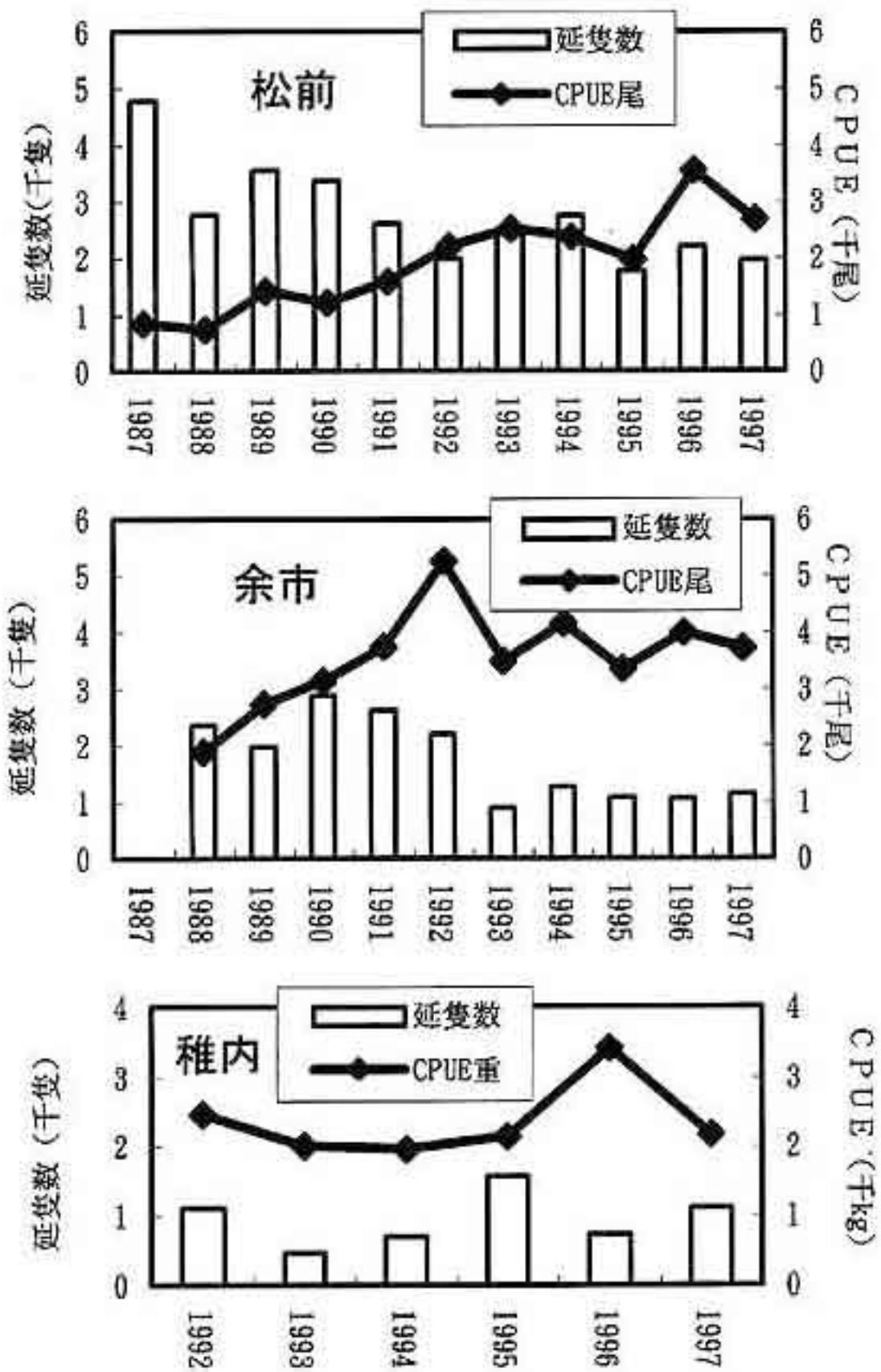


図2 松前・余市・稚内港における小型いか釣船の水揚げ隻数とCPUE  
 注) CPUE (尾数) : 1隻1日当たりの平均漁獲尾数  
 CPUE (重量) : " 重量

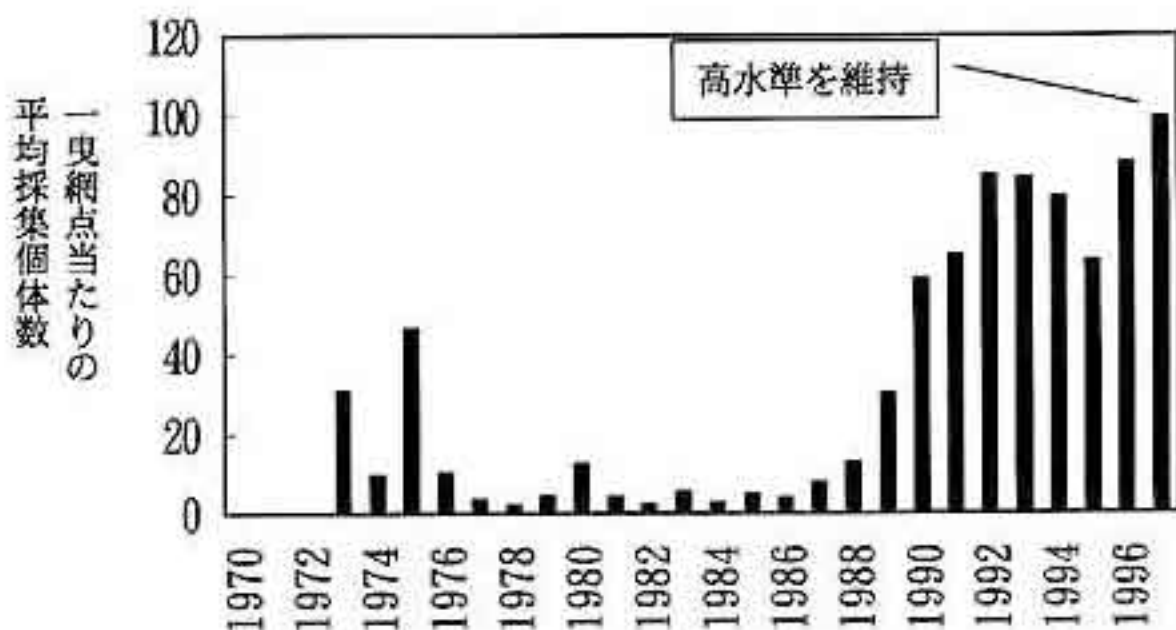


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ稚仔分布量の経年変化(80Rネット)  
1970～1972年はデータなし (日本海区水産研究所 資料)

### ◎調査船調査予定

北海道水試では浮魚、底魚、海洋観測などについて調査船調査を行っています。  
ここでは、今年度の浮魚類調査予定を紹介します。

- おやしお丸(中央水試) … 海域：道西～道北日本海  
スルメイカ調査 6月下旬～7月上旬、8月下旬～9月上旬
- 北辰丸(釧路水試) … 海域：道東太平洋  
スルメイカ類調査 6月上旬～中旬、8月下旬、10月中旬  
マサバ・マイワシ調査 6月下旬～7月上旬、9月上旬  
サンマ調査 7月中旬～下旬、9月中旬～下旬  
サンマ・マサバ調査 10月下旬
- 金星丸(函館水試) … 海域：道南日本海～津軽海峡～道南太平洋  
スルメイカ調査 6月上旬～中旬、6月下旬～7月上旬、8月上旬、  
8月下旬～9月上旬、10月上旬、11月上旬、12月上旬  
ヤリイカ調査 11月中旬  
スルメ・ヤリイカ調査 12月中旬
- 北洋丸(稚内水試) … 海域：道北日本海～オホーツク海  
スルメイカ調査 6月下旬、11月上旬  
サンマ調査 9月上旬、9月下旬

(文責：中央水試資源管理部)